



会長 菅原文之
幹事 佐々木源悦
会報 佐々木崇光 佐藤静市
 高橋利光 渡辺光悦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2331回例会 2011. 12. 15 No.22

本日の出席率

- ・本日の出席率 76.9%
- ・前回確定出席率 82.7%

ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 菅野幸一郎会員のスピーチに期待。
- ・伊藤俊郎会員 親睦活動委員会より、12月23日のクリスマス家族会に多くのオークション商品の提供をお願い致します。菅野幸一郎会員のスピーチにご期待いたします。
- ・菅野幸一郎会員 本日、私のつたないスピーチの時間がやってきました。どうぞ宜しくお願いします。
- ・飯塚仁哉会員 未来のガバナー、張り切りボーイの菅野君をヨイショして。
- ・小野寺伸浩会員 無事にホストファミリーを千葉吉男さんに引き継ぎできました。
- ・佐々木源悦幹事以下 菅野幸一郎会員のスピーチに期待して。
 布施孝之会員 及川勝永会員 氏家良典会員
 佐竹孝行会員 阿部賢悟会員 遠藤光則会員
 佐藤静市会員 猪股育夫会員 高橋利光会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 高橋義文会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会長

各テーブルに、淡路三原ロータリークラブの豊田恵会長より、義援金を送るので東日本大震災で被災した地区の復旧復興に活用してほしい旨の文書が届きましたので、置いておきました。どうぞ回し読みしていただきたいと思います。私達のクラブに、南三陸町の伊里前小学校の兵藤文隆校長より、支援の要請（暖房用のストーブ）がありましたので、ブルーヒーター

2台、反射式ストーブ3台を昨日、阿部賢悟復興特別支援委員長、猪股育夫会員と共に届けて来ました。淡路三原RCからは、最初幹事からの電話でしたが、淡路は阪神大震災の震源地と言うこともあり、その時々とお世話になったので、淡路地区はなるべく南三陸町の支援をしたいということでした。金額が少なく心苦しく思うと書いてありますが、金額が小さくてもこの様に役立つことがありますので、そういったことで進めて行きたいと思っております。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ロータリー日本財団より 寄付金に関する税制上の優遇措置について
- ・台北西門RCより、クリスマスカードが届く。
- ・ガバナー事務所より 「台湾から日本への被災地へ贈る手紙」の文集が届きました。
- ・ロータリー囲碁同好会より 第13回ロータリー国際囲碁大会の案内
 日時 2012年3月3日(土)、4日(日)
 会場 第2680地区大会会場、神戸ポートピアホテル
 登録料 14,000円
- ・日本に於けるロータリー平和センターを支援する委員会より 国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス献金のお願い。(東ヶ崎潔氏は日本人初のRI会長)

各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会 (高橋義文委員長) ポールハリスフェロー、マルチプルフェロー現在迄9名の方にご協力をいただき、ありがとうございました。認証状、バッチ等が届きましたので菅原文之会長より授与していただきます。ポリオ撲滅運動に大勢の会員に賛同していただきありがとうございました。現在7名の方より寄付金をい

ただきました。12月中はロータリーレート1ドル78円ですので、ご協力をお待ちしております。

・親睦活動委員会 (伊藤俊郎委員長)

次週12月23日(金)は、ご案内通りクリスマス家族会です。現在、大人51名、子供22名の出席の連絡をいただいております。まだ締切りまで数日ありますので、多くのご参加をお待ちしています。尚、例会終了後、委員会を開催しますので、委員の方よろしくお願ひします。今回は、オークション売上金を義援金に使用しますので、多くの提供をお願いします。

◎認証状、バッチ、メダルの授与

- ・ベネフェクター 猪股育夫会員
- ・マルチプルフェロー 阿部泰彦会員 高橋義文会員 菅野幸一郎会員 遠藤光則会員 熊谷敏明会員
- ・ポールハリスフェロー 高橋利光会員 太田陽平会員 只野佳且会員

今週のスピーチ

菅野幸一郎会員

3. 11の翌日の河北新報ですが、実は宮城県では河北新報しか発行できませんでした。朝日新聞も読売新聞も翌日発行は無理で2~3日遅れで発行されました。

毎日、河北新報が私の店まで届くのが2時10分頃ですが、この日は12時20分頃から印刷が始まりました。最初、サーバーが倒壊したため新聞は印刷することが出来ないとということでしたが、一力社長が陣頭指揮をして、その時いた社員450人位を中庭に集めて社員の安否確認、そして、支局、販売店の状況を把握することに努めました。これらが全部揃わないと新聞は発行出来ません。

新潟地震が起きた時、河北新報は協力し、将来的に宮城県沖地震が起きることを予測し、事前に震災協定を結んでおりました。災害が起っても河北新報は絶対に新聞は休まない。河北新報は明治30年に創刊し、現社長は四代目ですが、新聞を何とか発行出来ないかと新潟日報さんに相談したところ、向こうの編集局長が協力しようということで、原稿をある程度送り作ってお願い、後で河北から社員2人を新潟日報に

向かわせ、あらかじめ作られた新聞の手直しをしました。これは河北なりのオリジナリティをだすためです。この様に何とか間に合わせ、それを転送してもらって五つ橋の本社と被害のなかった泉の工場印刷という見通しが立ちました。

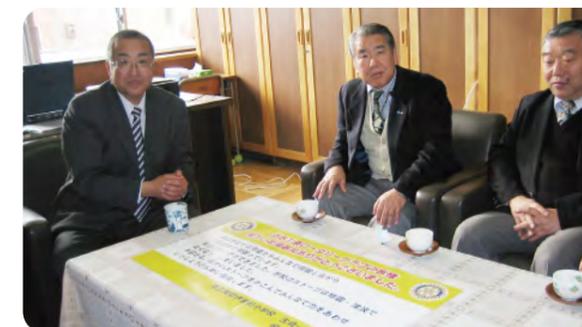
最後まで連絡がとれなかったのは志津川支局でした。取材車で本社から被災地へ行くよう指示が出て、被災地に行ったようですが、ほんとうに大変で胸をいためながらの取材活動にあたったということでした。とにかくみんなが力を結集して12時20分頃印刷を始める3時位には終わり3時半には私の販売店に届きました。私の方でも何とかして配達員を確保し、皆様の家に7時頃までにはお届けすることが出来ました。

創刊以来、河北新報は115年間休刊日以外に休んだことがありません。又、合併吸収も一回もなく一力家ですと現在の4代目まで続いております。これも全国では珍しいことの様です。

この後DVD (南三陸町分) を見る。



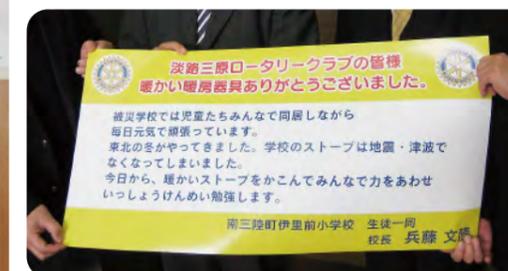
ロータリー財団への寄付会員



兵藤校長に説明する会長と委員長



伊里前小学校へストーブを支援



伊里前小学校から淡路三原RCへ感謝のメッセージ